

会員の近況報告



会員名：藤木良隆 出身：溶接工学科 S40 年学部卒

技術士(建設部門、総監部門)、日本技術士会神奈川県支部所属

現役時代のものづくりと海外勤務、62歳退職後の14年間の海外施工監理の経験と上記技術士の資格をベースに、現在、神奈川県支部の幹事の役職で第2期目を迎えた。

ここ3年余、ほぼ毎月県支部開催のCPD講座や情報交流の会を通じて、はやりのIoT技術やEV技術見学会、ものづくり技術等の研鑽に努めている。

最近、10年前に関わったベトナムはハノイ市内のインフラ設備の工事記録を当時のPMとの共著でJSSC(鉄構建設ジャーナル春季号)に6,000文字で投稿する機会があった。文書作成は頭の整理と体操にもなるし、これを機会に当時のPMと10年ぶりで再会した。とにかく東南アジアのインフラ工事でStructureを経験した建設部門の人材がひっ迫しており、応募すればニーズはいくらでもあるとの事。また各種会合の出会いで、講演や若手エンジニアの研修に過去の海外経験をまとめて実施してもらえないかとの要請を受けることがたまにある。技術士会の会合のみならず、旧交を温めるような機会も情報交換の場として大切にしたいと思う。中小企業のメーカーが海外関連会社との関係を強化して国内外の業務の強化と連携効率化を図りたいという話もあり、要請されれば取り組んで行きたいと思う。参考に過去～現在の事例を下記する：

- ① 1 昨年、友人からの要請で、『琵琶湖 Floating School 船』(学習船)の建造におけるAIの上部構造に関する助言を求められ、瀬戸内の造船所に何度か通ったことがある。
技術士のAI経験者を紹介したことで、技術的に軌道に乗り、船は昨年無事竣工した。
 - ② 技術雑誌への投稿と講演依頼の対応を各々数回実施したが今後も機会を作りたい。
 - ③ 何はさておき、技術士として、どんな仕事をするにしても我々の健康増進が大切である。
工学部関係の行事でゴルフ、カラオケにはたまに参加している。また歩く、しゃべる、書く等何でも前向きにとらえて出来るだけ出歩くことにしている。技術士会の定例会議を始め、他の会合にも出ることで、歩く距離を稼ぐ事で、体力の維持向上に少しでも結び付けたいと願っている。
 - ④ 6月に友人の誘いで、上野の芸大のMorning Concertにも始めて顔を出す予定である。
- ★ 現在の連絡先：藤木技術士事務所 (fmc_yfujiki@yahoo.co.jp)
- ・海外へ施工監理業務で出張していた14年間は、(有)藤木マネジメント・コンサルティングとしていたが、現在は法人を休眠として、上記の技術士事務所で業務を行っている。